

12/3/2013

自民党派閥の政治資金パーティ
一券収入を巡り、最大派閥清和政策研究会(安倍派)が巨額の裏金をつぶらをしていた疑惑が浮上しました。所属議員が販売ノルマを超えて集めた分の収入を政治資金収支報告書に記載せず、議員側に還流させたギックバックが組織的に実行されていたとされます。裏金総額は2000年までの5年間で1億円以上とみられます。他派閥でも同じ手法の裏金やりがあったと報じられており、自民党全体にかかるる重大問題です。しかしながら文雄曾相は徹底解明に後ろ向きです。國へいは許されません。

自民派閥裏金疑惑

主張

眞に付近選回数の実績などに応じて、
て券の販売ノルマが課せられました。
す。同派ではノルマ以上に売った
分を、議員側に還流させる運用が
常態化していただとされます。

10月半ばで内閣府の業務を取り仕切る事務総長を務めていました。松野赳は一日の記者会見で、報酬について質問が集中しあつたが、「政府の立場」を理由に疑惑に切符を出ませんでした。

松野赳を経てで22年10月半ばで内閣府事務総長だった西村慶次は、内閣府の放棄です。
内閣府事務総長の間われ「そういう話はあったと思
う」と認めたが、直後に撤回
し、「事業関係を精査する」と直
つけながら「萩生田光一・眞柴
わばかりです。萩生田光一・眞柴
党政課会長なら他の安倍派幹部が
も沈黙している。内閣府事務総長
の政治家が口をつけぬ繋がりといふ
は許し難い説明責任の放棄です。

心にまかせん。眞相は全ての流説を
ひつて調査し、國庫の前で明ひか
にやくめだよ。